

# 退職者連絡会

第50号  
(発行・編集)  
J R九州労組  
退職者連絡会  
鹿児島地区本部

## 「さんたんぞの輝男」出陣式 雨の中、必勝に向けて150名が結集

四月十二日午前十時より地元星ヶ峯団地に於いて「さんたんぞの輝男」候補の出陣式が開催され、会場には、雨にも関わらず地元住民をはじめ、各支援労組、団体ら一五〇名がマスク着用で結集しました。

今回は、新型コロナウイルス感染防止を勘案し、関係労組、団体等の代表者に若干加えた縮小開催となりました。

まず、星ヶ峯後援会を代表して、平野洋一会長が挨拶「七期二八年の間、団地の生活環境の整備等をはじめ、青少年の教育、スポーツ振興にご尽力を頂いた。今回の選挙はコロ

ナウイルスで活動も制約され、定数も五



減り、四五名で六〇名の立候補となっており、かつてない激戦となつている。皆さまのお力添えを」と訴えられました。引き続き、鹿屋工業高校同窓会、東校区地域コミュニティ協議会等々の代表らが挨拶後、野間たけし前衆院議員（国民民主党鹿児島連副代

表）が登壇「十九日まであと一週間、決戦の火ぶたが切られた。七期二十八年間、地域、鹿児島発展のために尽くされてきた。どつしりと地域に腰を据え、ぶれない信念の政治家として、地域に絶対必要な方である。十九日必勝に向けて共に頑張ろう」と檄を送られました。

そのあと「さんたんぞの輝男」候補が挨拶に立ち「コロナウイルスで全国厳しい状況にあるが、人類の英知を結集すれば、必ずや難局を乗り越えられると思う。七期二十八年間、議員生活を地域、支援者の皆様に支えられ頑張つてこられた。子供や孫たちに伝えていける自然と共生できる安心・安全な社会（街）づくり、鹿

児島に住んで良かったと言える取り組みを確実に進めて行く」と力強く決意を表明されました。

選挙運動用自動車運転員、ウグイス嬢の紹介後、出身の九州電力労組を代表して黒江嘉文委員長が挨拶「今日まで後援会活動を頂いた皆さまに心から感謝します。前回の四年前は、熊本地震で九電から電気復旧のため多くの方が応援に行つた。ところが、帰鹿できず投票できない方々があつた。是非、期日前投票を本人は勿論、知人にも勧めてほしい。最後までのご支援を」と述べました。出陣式の締めくくりとして、地元西校区体育協会の東大輔会長の音頭で、団結頑張ろうを三唱。本隊車は出陣式支持者らの激励の拍手で

地元を皮切りに声高らかに「さんたんぞの輝男」を連呼し、市街地へ繰り出して行きました。

### 出水地区で親睦ゴルフ 懇親会は普話で盛り上がる

去る三月十六日出水地区のゴルフ交流会を出水GCで開催しました。

楽しいゴルフを満喫しました。

当日は青空の下、地区本部役員及び地元会員、特別参加として鶴菌義彰出水駅長ら十一名名が参加しました。

競技は、珍プレー、美技などシニアの持ち味を存分に生かし、十八時から駅近くの居酒屋で懇親会を行い、堅山正明会長より、年間行事へのご協力とご参加に感謝の言葉を述べられ乾杯。その後、互いに近況や、昔を語り、焼酎を呑み交わしながら和やかな雰囲気のもと二十時散会となりました。

### 編集後記

市議選も十九日、市民の審判が下される。今回は議員定数が五減り、四五人を立候補六〇人で争う激戦である。新型コロナウイルスで投票率が気掛りだ。選管は投票所の記入席等も離すなどの対策を講じている。あなたの一票を大切に！

